

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、業務運営を機能的かつ効率的に推進する観点から、平成20年4月1日に組織再編を行い、これまで品目別・内外別に行っていた業務実施体制を改め、品目横断的かつ国内外一体的に行う組織とした。

また、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報の収集、整理及び提供の業務の実施に当たっては、価格安定等の業務を通じた独自の情報・データの収集・蓄積及び海外の農畜産物の需給に関する情報収集力の強化を図り、併せて、調査テーマの重点化を図るとともに、情報提供媒体の合理化及びホームページへの重点化を行いつつ、利用者への積極的な情報発信に努めた。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等を機構職員、専門調査員により収集並びに整理・分析を行った。

(2) 海外

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例等を機構の海外駐在員および、本部職員による調査、会議等への参加により収集並びに整理・分析を行った。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

収集、整理・分析を行った情報は、「畜産の情報」、年報「畜産」、「野菜情報」、「砂糖類情報」および「でん粉情報」の発行による提供を行った。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に掲載されているものに加えて、「海外駐在員情報」、「畜産物市況週報」、「国際情報コーナー」のトピックス及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより各情報誌の発行情報、「海外駐在員情報」等のホームページの更新情報並びに調査報告会開催情報等の迅速な提供を行った。

(4) 調査報告会・地域情報交換会等による提供

本部・地方事務所により海外調査報告会等、情報提供の場を設けて、生産、流通、消費、制度等に係る課題・取り組み等の情報のほか、海外駐在員及び海外現地調査等により収集した各種の情報について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

国内

- ・国内の食品副産物の飼料化
- ・TMR（完全混合飼料）センター・ネットワークの可能性と課題
- ・牛乳乳製品需給動向・短期見通し（日本）
- ・牛肉・豚肉の需給展望、肉用子牛の市場取引価格動向（日本）
- ・食肉需給動向・短期見通し（日本）

海外

- ・主要国の飼料穀物等の需給動向・短期見通し（世界、米国、ブラジル、アルゼンチン、豪州、中国、タイ等）、飼料価格の日韓比較
- ・主要国の牛乳乳製品需給動向・短期見通し（世界、米国、NZ、豪州、アルゼンチン、ブラジル、中国等）、酪農と水資源
- ・米国2008年農業法と酪農乳業への影響、EUのCAP（共通農業政策）見直し・生乳クォータ（生産枠）拡大とその影響、輸出補助金再開
- ・主要国の食肉需給動向・短期見通し（世界、米国、豪州、アルゼンチン、ブラジル、チリ、中国、韓国、タイ等）
- ・北米肉用牛繁殖経営の現状と課題、アルゼンチン肉用牛生産のフィードロット化、トレーサビリティシステムの向上に努めるチリの豚肉流通

(2) 野菜

国内

- 加工・業務用需要、地産地消、輸出に向けた国内産地の取り組み
- ・千葉県における加工・業務用野菜に関する取り組み
- ・「ほうれんそう国産化推進チーム」の契約取引
- ・「地産地消」から「地産都消」への発展
- ・順調に輸出を伸ばす「十勝川西長いも」

海外

- 需給に影響大きい中国等の生産・流通・消費、政策、安全対策等
- ・中国からの品目別野菜輸出状況

(3) 砂糖

国内

- 生産コスト低減・担い手育成の取り組み
- ・てん菜直播栽培の普及状況、減肥によるてん菜栽培の低コスト化
- ・種子島の耕畜連携に向けた取り組み等

海外

- B R I C s 等経済新興国の需給動向、バイオ燃料の生産動向
- ・ブラジル及び米国ハワイ州の砂糖及びエタノール生産状況
- ・中国の砂糖産業の概要

(4) でん粉

国内

- 生産コスト低減・担い手育成の取り組み、いもでん粉の用途拡大
- ・鹿児島県における品目別経営安定対策の取り組み方向
- ・耕作放棄地を活用したでん粉製造企業による原料生産の取り組み
- ・さつまいもでん粉を使った冷麺の開発

海外

- EUのばれいしょでん粉、タイのタピオカでん粉の生産・流通・消費、政策、貿易等
- ・EUのでん粉政策（ばれいしょでん粉）
- ・タイのタピオカでん粉の生産と流通